

⑥主な取組 【(2)S-TEAM教育推進事業「探究チャレンジ北海道」】



【成果発表後に質疑応答する様子】



【ポスターセッションの会場の様子】



【英語による発表の様子】

○受賞校一覧

賞	高校名	発表タイトル
北海道知事賞	静内農業	お馬さんは心と体のセラピスト ～馬との共生社会を活かした動物介在活動～
札幌市長賞	壮 警	不用なものを有効に ～果樹の廃木で地域貢献～
北海道大学賞	釧路湖陵	カゼインプラスチックの研究
ニトリ賞	名 寄	ニトリ「新サービス」の提案について
英語発表部門賞	釧路湖陵	カゼインプラスチックの研究
ゼロカーボン探究賞	旭川農業	上川アップデート・プロジェクト ～木製品開発で新たな魅力を!!～



【オンラインによるライブ配信の様子】

⑥ 主な取組 【(3) 北海道立学校教育活動応援事業】

現状と課題

- ① 計画提出校は全体の約3割
- ② 寄附を事業化した学校は21校 (計画提出校の23%)
- ③ 国際交流事業は令和4年度のみ
- ④ 令和4年度は過去3年と比較し85%減

特色ある教育活動の推進

- 生徒の主体的な進路選択を可能とする学校づくりを推進
- 各学校間の切磋琢磨などの共鳴効果を促し、高校教育全体の活性化

北海道らしい関係人口の創出・拡大

- 地域の担い手としての活躍を促し、地方創生の当事者の獲得
→ 学校を含めた地域活力の維持・発展

生きる力から

知識・技能の習得
思考力・判断力・表現力の育成
学びに向かう人間性等の涵養

各地域の人的・物的資源と機能を共有し、相互にフル活用し協働

地域創生へ

取組の方向性



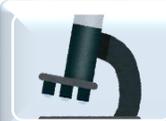
地域の人々への貢献

- ・ 返礼品の創意工夫・感謝状や活動報告の送付
- ・ 活動を通じ地域の発展に貢献する人材の育成



教育活動自体への支援

- ・ C F の採用 具体的な発表会・商品開発・販売実習等
- ・ 地域や産業界等との連携・交流を通じた学習活動



より多くの寄附金の募集

- ・ 生徒による商品開発 効果的な流通とプロモーション
- ・ 多様なPR活動 HP・CF通信・チラシの作成等

◆ ふるさと応援事業3年間の実績等を踏まえ、継続する事業(返礼品なし)のほか、クラウドファンディングによる新たな**モデル事業を展開**し、**特色ある教育活動**の推進と**関係人口の創出**を目指す

北海道立学校ふるさと応援事業

返礼品なし

- 道内居住の道立学校卒業生等 (OB・保護者) を対象
- 事業計画未提出校への働きかけ
- 既寄附者に対する継続した関係性の維持 (案内・広報)

返礼品あり **NEW**

- 道外居住の北海道関係者 (出身者等) を対象
- 道の返礼品の設定内容のさらなる充実
- 各学校の事業計画のPR方法 (視認性・検索性) を工夫
各校の取組紹介・HP改善

クラウドファンディング **NEW**

- 3事業(300千円上限)を指定
- GCFの実施基準策定・事業選定委員会を設置
- 市場の動向、商品開発と流通に関する材料を工夫し実践

学校事業計画

各校の素材を活かした教育活動の充実(共感)

持続可能な取組 (謝意)



学校生産物不使用

主に道内居住者

寄附の主な用途
・ 販売実習経費
・ 商品開発経費
・ 学校活動広告経費

学校生産物等活用

道外居住者



地学協働アワードなど地学協働による取組

地域振興施策の充実・PR

商品開発
地域ブランド化

学校生産物等活用

道内外全て



体験活動・実習を継続的に推進

学校の創意工夫による生徒の自己実現・北海道の未来を担う人材の育成

⑥ 主な取組【(4) 体力向上推進事業】

本道児童生徒の体力の現状と課題（R4全国体力・運動能力、運動習慣等調査から）

- ・ 体力合計点が全国平均を下回っている状況が継続（○小学校は改善傾向、●中学校は差が拡大）
- ・ 「運動やスポーツをすることは好き」、「体育・保健体育授業は楽しい」と回答している児童生徒の割合は全国平均以上
- ・ 体育・保健体育授業で「できたり、わかったり」することがあると回答している児童生徒の割合が全国平均以下 等

体育専科教員等の配置や訪問指導、保健体育科教員への指導力強化研修を通じ、体力向上に向けた組織的な取組の質の向上、児童生徒が「できた、わかった」を実感できる体育授業の改善・充実、教員の体力向上に対する指導力の向上に向けた取組を推進する。

